

特別展

家元に伝わる茶の湯の道具（五）

表千家歴代ゆかりの茶碗、服紗

令和五年十月十一日（水）～十二月十三日（水）

一部展示道具を入れ替える場合がありますので、予めご了承ください。
展示室および展示道具の写真撮影は、ご遠慮ください。

表千家北山会館

利休・少庵―わび茶と長次郎の樂茶碗―

掛物 古溪宗陳筆 利休居士号賀頌

茶碗 古瀬戸天目 木地天目台にのせて

茶器 利休好 菊蒔絵大棗 三代中村宗哲作

利休好 桐蒔絵大棗 三代中村宗哲作

茶碗 長次郎作 黒 如心齋銘 待宵

呉器 銘 秋色

斗々屋 銘 松風

樂宗入作 赤 檢校写

常慶作 白釉 如心齋銘 巖雪

元伯宗旦・江岑宗左・随流齋―樂茶碗の継承―

掛物 元伯筆 椿画賛

茶碗 ノンコウ作 赤 元伯直判

樂慶入作 黒 稻妻写

樂長入作 御紋写 木地天目台にのせて

随流齋手造 黒 覚々齋直書

覚々齋―家元手造りの茶碗と数茶碗―

掛物 覚々齋筆 竹画賛

茶碗 樂宗入作 黒 覚々齋銘 はちノコ 癸巳茶碗ノ内

覚々齋手造 赤 団子の絵 流芳五十ノ内

大龍宗丈・啐啄齋箱

了々齋箱

如心齋箱

如心齋箱

如心齋・即中齋箱

清巖宗漕・大龍宗丈箱

啐啄齋・即中齋箱

如心齋・吸江齋・即中齋箱

啐啄齋・即中齋箱

江岑・碌々齋・而妙齋箱

碌々齋・惺齋箱

了々齋・而妙齋箱

而妙齋箱

覚々齋・了々齋箱

覚々齋・即中齋箱

茶碗 繪志野 覚々齋銘 布袋

樂旦入作 黒 太郎写

樂旦入作 黒 次郎写

樂旦入作 赤 三郎写

如心齋―千家茶道の中興と茶碗―

掛物 無学宗衍筆 七事式 啐啄齋在判

茶碗 樂左入作 黒 如心齋銘 法華經 左入二百之内

茶書 如心齋筆『左入数焼』（左入二百の茶碗の銘）

茶碗 如心齋好 嶋台 樂長入作

安南写 福の字 永樂保全造

啐啄齋・了々齋―紀州家御庭焼と徳川治宝公―

掛物 了々齋筆 富士画賛 表具 碌々齋好

茶碗 啐啄齋所持 萩 銘 武蔵野

志野 啐啄齋銘 籬

了々齋手造 赤 徳川治宝筆 亀の絵 借樂園製

樂旦入作 栄仁写

吸江齋―御庭焼と永樂家の茶陶―

掛物 鎮吉筆 羽箒 鏝ノ絵 吸江齋賛 拂拭

茶碗 吸江齋手造 赤 銘 残梅

服紗 御庭織 徳川治宝より吸江齋拝領

茶碗 葵紋金欄手 永樂保全造 徳川治宝より吸江齋拝領

仁清写 葵紋蓬萊絵 永樂保全造 徳川治宝より吸江齋拝領

覚々齋箱

吸江齋・惺齋箱

吸江齋・惺齋箱

吸江齋・惺齋箱

如心齋箱

碌々齋・惺齋箱

惺齋箱

啐啄齋・了々齋箱

啐啄齋箱

了々齋箱

了々齋箱

而妙齋箱

吸江齋箱

吸江齋箱

吸江齋箱

吸江齋箱

碌々齋・惺齋―日本各地の茶碗と工芸―

掛物 碌々齋・惺齋合作 梅画賛

茶碗 萩 碌々齋銘 菊が浜

相馬焼 馬の絵

惺齋筆 菊の絵 永樂妙全造

惺齋筆 松の絵 赤 樂弘入作

碌々齋・即中齋箱

碌々齋箱

惺齋箱

不審菴模型

吸江齋の紀州徳川家初出仕の茶会

掛物 如心齋筆 大根画賛 徳川治宝より吸江齋拝領

了々齋箱

花入 竹一重切

釜 紫野写 尻張

炉縁 木地 駒澤利齋作

水指 吸江齋好 菊置上曲 駒澤利齋作

茶器 黒 大棗

茶碗 吸江齋好 嶋台 樂旦入作

吸江齋箱

茶杓 竹

建水 黒サハリ エフゴ 中川淨益作

而妙齋箱

蓋置 竹

即中齋

茶碗 即中齋筆 白菊ノ絵 赤 樂寛入作

即中齋筆 明歴々 平 永樂即全造

掛物 即中齋・而妙齋・猶有齋合作 風面賛「あがれあがれ天まであがれ」

茶碗 即中齋手造 黒 歌銘 飛石の しめりかげんや 初時雨

服紗 即中齋好 雲紹巴 五種 土田友湖作

茶碗 即中齋筆 玉ノ絵 寿ノ字 永樂即全造

猶有齋

茶碗 猶有齋筆 波ノ絵 赤 銘 竹生島 樂吉左衛門作

服紗 猶有齋好 干支 染 (癸卯・令和五年) 土田半四郎作

掛物 猶有齋筆一行「和敬清寂」 軸先一閑 表具好

茶碗 猶有齋手造 黒 銘 手習 (宗員時代)

服紗 猶有齋好 瑞宝染 五種 土田半四郎作

茶碗 灰釉 角大師ノ絵 永樂善五郎造

而妙齋

掛物 而妙齋筆横物「松風詠萬歳」

茶碗 而妙齋手造 黒 銘 遊心 (宗旦時代)

服紗 而妙齋好 松寿 緞子・紹巴 土田半四郎作 (宗旦時代)

茶碗 赤瓷 而妙齋筆 寿山福海ノ字 永樂而全造

而妙齋筆 松ノ絵 翠ノ字 永樂即全造

而妙齋箱

而妙齋箱

即中齋箱

即中齋箱

即中齋箱

猶有齋箱

猶有齋箱

猶有齋箱

猶有齋箱

猶有齋箱

而妙齋箱

而妙齋箱

而妙齋箱

而妙齋箱

而妙齋箱

カリ口ク 而妙齋好 松重 土田友湖作

茶碗 菊ノ絵 永樂而全造

而妙齋箱
而妙齋箱

服紗 而妙齋好 干支 染 (辛卯・平成二十三年) 土田友湖作

而妙齋好 干支 染 (壬辰・平成二十四年) 土田友湖作

而妙齋好 干支 染 (癸巳・平成二十五年) 土田友湖作

而妙齋好 干支 染 (甲午・平成二十六年) 土田友湖作

而妙齋好 干支 染 (乙未・平成二十七年) 土田半四郎作

而妙齋好 干支 染 (丙申・平成二十八年) 土田半四郎作

而妙齋好 干支 染 (丁酉・平成二十九年) 土田半四郎作

而妙齋好 干支 染 (戊戌・平成三十年) 土田半四郎作

猶有齋好 干支 染 (己亥・平成三十一年) 土田半四郎作

猶有齋好 干支 染 (庚子・令和二年) 土田半四郎作

猶有齋好 干支 染 (辛丑・令和三年) 土田半四郎作

猶有齋好 干支 染 (壬寅・令和四年) 土田半四郎作

呈茶ロビー

掛物

胡粉高盛金彩絵「椿」 伊東久重作

即中斎筆「千里同風」 額装

立礼席

掛物

即中斎筆 松自画賛「無古今色」

花入

碌々斎好 手附置籠写

常滑 置 銘 老松

立礼卓

而妙斎好 扇面

釜

伝来写 羽子板 惺斎自筆「且坐喫茶」ノ字 大西浄長作

水指

而妙斎好 竹ノ絵 ルリ交趾蓋添 永樂即全造

茶器

山中製 コマ中棗 内銀 宗哲 惺斎在判

茶碗

樂覚入作 黒 銘 三番叟

替

堂本印象下画 秋草ノ絵 永樂即全造

安南写 寿ノ字 永樂妙全造

茶杓

竹

建水

唐銅 独楽ツナギ

蓋置

萩 チキリ 坂倉新兵衛作

惺斎箱

展示期間 11 / 8 - 12 / 13

即中斎箱

展示期間 10 / 11 - 11 / 7

惺斎箱

而妙斎箱

即中斎箱

而妙斎箱

展示期間 10 / 11 - 11 / 7

展示期間 11 / 8 - 12 / 13

地階 特別映像

千家十職の土田家、永樂家、樂家のそれぞれのお家を熊倉功夫先生が訪ねられ、各家のご当主にお話を伺われました。その収録映像を会期中、地階にて上映いたしております。ぜひご覧ください。

※11月28日（火）は上映がございません。

ダイジェスト版

◆ 土田家、永樂家、樂家をたずねて
（32分） 10時〜 13時8分〜

本編

◆ 土田家（22分）	10時32分〜	11時50分〜	13時40分〜	14時58分〜
◆ 永樂家（28分）	10時55分〜	12時13分〜	14時3分〜	15時21分〜
◆ 樂家（27分）	11時23分〜	12時41分〜	14時31分〜	15時50分〜

ご自身のスマートフォン等でも、上映時刻を気にせず
ご自由に映像をご覧いただくことができます。



NETWORK
GUEST
PASSWORD
guest123



SCAN TO CONNECT

閲覧パスワード
Omosen2023